

三十四球目

交通事故のない
安全なまちづくりを目指して



高橋 榊原純夫

一瞬にして尊い命を奪われ、平和な暮らしを壊してしまう交通事故。

このところ市内における人身事故の件数は減少傾向にあります。昨年1年間の人身事故件数は596件で、大変残念なことに8人の尊い命が奪われています。

悲惨な交通事故をなくすことは、安全なまちづくりの一環として取り組むべき課題であり、また、市民の皆様との最も身近で日常の問題でもあります。

交通事故に遭わない、起こさないようにするため、地域の皆様や半田警察署と連携して、交通安全活動に一層取り組んでまいります。



●**交通安全団の設立**
子どもたちを交通事故から守る地域活動の形として、来年度、新たに交通安全少年団を発足させます。



子どもたちが自主的なグループ活動を通して交通ルールを学び、校外における交通安全活動等、地域と力を合わせ交通事故防止に努めていただきます。

具体的な活動は、学校や子どもたちとの話し合いにより決めてまいります。子どもたちの登下校時の安全見守り活動を実践されている地域団体

との連携や、低学年児童への自転車乗り方教室等、子どもたちと地域、警察、市が一体となり、学校の内外で楽しみながら交通安全を推進してまいります。

●**市民齊交通安全街頭監視**

ドライバーの交通安全意識の高揚を図ることを目的に、年に4回の交通安全キャンペーンを実施しています。

市民の皆様にご協力をいただき、地域の主要な交差点等で、「飲酒運転根絶」「子どもや高齢者を交通事故から守ろう」などをスロガンに交通立哨を行います。



●**高齢者を交通事故から守るために**

昨年の交通事故死亡者8人のうち6人が高齢者でした。高齢者を交通事故から守るため、地域の敬老会など、お年寄りが集まる

場所やイベントを活用した交通安全教室を開催します。

また、高齢者の運転操作誤りによる交通事故が社会問題となつていますが、一方で、車を手放すことで日々の暮らしに不便が生じるという声も多くお聞きします。

本市では、新たな公共交通網の創出を進めており、本年10月からコミュニティバス等の実証運行を開始します。地域のスーパーや店舗、病院などを巡るルートを予定していますので、高齢者を始め、多くの市民の皆様にご乗車いただきたいと思います。

●**子どもたちを交通事故から守るために**

次代を担う子どもたちが、交通ルールを学び、登下校時の交通事故から身を守るため、交通指導員を全小学校区に配置しています。

交通指導員による交通安全教室は、市内すべての幼稚園・保育園・子ども園・小学校などで開催しており、毎年大勢の子どもたちに交通安全について学んでいただいています。

最後に、交通事故は市民の皆様にご協力いただかなければ減少しません。

日頃から車の運転には思いやりを持っていただき、譲り合いの気持ちで安全運転に心がけていただくとともに、交通安全意識が市民の皆様幅広く浸透するよう、啓発活動にもご理解ご協力をお願いします。